

聞思

今号の法語

永遠なる真実あり
されどわれらには真実なし
拝めば真実われらに現れる
金子大榮

発行所 光山寺
〒758-0063 大宇山4553
萩市 大字山田22-1370
TEL (0838) 22-1370
http://kousanji.net

住職継職報告法要 来年5月へ延期

皆様には先にお知らせの通り、本年十一月二十八日から三十日に予定していましたが光山寺住職継職奉告法要を延期することとなりました。冬場ということもあり、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う三密回避が難しいという判断にいたり、総代役員と協議の結果、ご門徒をはじめ皆様が安心してより多くご参加いただけることを考慮いたしました。

既に、諸行事やご予定を繰り合わせていただいている事かと存じます。何とぞ状況をご理解賜り御容赦いただけたら幸いです。

延期日は、来年(令和三年)の五月一日(土)・二日(日)、春の永代経法要時となりました。当初より大幅に縮小して開催する予定で、再延期はございません。(五月一日は現時点では、「帰敬式」のみ予定)

正式な予定ご案内は年明けにはお届けいたしますが、皆様には五月二日午前・午後(稚児行列あり)の法要にご参加いただけたらと思います。

稚児行列は、白水小学校正門前から光山寺参道を歩くルートとなります。事前に着替えと戸外という事で、三密回避にて実施予定です。募集は、報恩講時にチラシ配布できればと思います。

尚、予定変更により、記念行事のコンサートは中止、記念法話の講師も、森田眞円 師(本願寺派勧学・龍大教授)に変更となりました。

今秋の永代経法要(九月二十八日・二十九日)、報恩講法要(十一月二十八日・二十九日)は感染予防対策をしながら予定通り開催予定です。ただ、御齋につきましては、感染予防の観点から別方法を検討中です。また、萩・長門地域感染拡大の場合には中止となる可能性もあります。

境内工事ほぼ終わる

住職継職法要に伴う平成大修復工事もいよいよ大詰めとなりました。境内の工事は、畳石の設置、舗装化が無事に終了しました。植木部分にも玉砂利をしき、防草効果が高くなりました。尚、境内地に車でも乗り入れられる場合には、人の飛び出しや接触事故には充分にご注意ください。お身体等のご不自由な方以外は、駐車場をご利用ください。

また、本堂内部につきましては、現在、ご本尊さま金箔剥落により張替修理をいただいております。当初の予定より土台部分修復に時間を要しております。秋の永代経法要に予定していただきました御本尊還座式法要は報恩講時に延期とさせていただきます。現在は、本堂裏の位牌堂のご本尊さま(写真)が、本堂にご遷座されております。これに伴い本尊裏の後戸の戸板部分も修復されました。

写経をお寺で

継職法要記念行事の一環として「写経納進」を受け付けています

が、中には「家では、ゆつくりと集中できない」「最近、出かける機会が減りなんだか張り合いがない」「お寺で写経した方が、お経を味わえそつこいという声をききました。そこで、定期にお寺の庫裏を開放して、ゆつくりした時間を過ごしていただきながら、自由に写経できるように、写経開放日時をもつけました。筆や墨などは用意しております。どうぞ手ぶらでお越しください。ご自身の筆を持参されても結構です。既に七月二十九日、八月二十六日と開放され、次回は九月十日の予定です。「写経納進」と庫裡開放は今後も行う予定です。また、第一回の写経納経を秋の永代経時に行う予定です。また、写経納進セット(写経用紙二部、写経解説図書)の代金を五千円(懇志込)と値下げいたしました。気軽に挑戦していただけるようになりまし



光山寺行事案内

関連行事には
カレンダーに◎印を！
和令二年度九月～十二月までの光山寺行事予定一覧です。万障繰り合わせてご参加ください。
★光山寺法要関連
九月二八・二九日(月・火曜)
秋季永代経法要(講師、岡 智徳師)
※御齋など詳細は寺院からの案内をご確認ください。
十一月二八・二九日(土・日曜)
報恩講法要 (講師、川原智生師)

★山口教区・萩組関連

九月十七日(木曜) 萩組総代会研修会(浄国寺) ※各寺院の代表者のみ
十一月二五日(水曜) 山口別院にて帰敬式執行
十一月二六～二八日(木～土曜) 山口別院報恩講法要(山口別院) 講師 生土昌行師 ※萩組参拝日二七日

★子ども会(土曜学校) 関連

一月 未定日 ※子ども報恩講
★仏教青年会関連 午後三時(庫裏)
十二月三一日(木曜) ※除夜会

★仏教壮年会関連

十月十八日 or 二十五日(日曜) 午後二時 グランドゴルフ大会
十一月二八日(土曜) 午後七時 報恩講夜座(本堂)
十二月十九日(土曜) 午後六時 光山寺仏壮研修会

★仏教婦人会関連

九月二六日(土曜) 午前八時 秋季永代経の清掃・荘厳
十一月二六日(木曜) 午前八時半 報恩講の清掃・荘厳
午後八時(本堂)
十月十九日(月曜) 十二月十四日(月曜)

★お経の練習会(旧、礼讃の夕べ)

午後八時(本堂)
九月十二日(土曜) 十月十日(土曜) 十一月七日(土曜)
十月十一日(日曜) 十一月十五日(日曜)

★雅楽練習会

午後七時半(庫裡)

★仏教讃歌コーラス練習会 毎月第三木曜日(本堂)

※現在 中断中



背号集 お知らせ

今年も別院にて帰敬式

山口別院の報恩講に合わせて今年も帰敬式が執り行われます。帰敬式は、阿弥陀さま・宗祖親鸞聖人の御前で浄土真宗の門徒としての自覚をあらたにし、今後力強く生きていくことを誓う生涯ただ一度の大切な儀式で、「おかみそり」ともいいます。式は原則としてご本山でご門主によって執り行われ、三帰依文を唱えて、おかみそりを受け、法名をいただくのですが、本願寺以外でも帰敬式執行が可能となりました。(光山寺では来年度より予定)受式者全員、山口別院の場合には、椅子席にて帰敬式を受式できます。



日時十一月二十五日(水曜日)、午後二時より受付、午後一時半執行。眞加金は成人一万円・未成年五千円を当日持参ください。

申込み方法は、お寺まで氏名・生年月日・住所を必ず十月十五日までにお知らせください。また、この度の帰敬式では法名の内願(本人がご希望の法名を付ける事)が可能です。九月十五日までとなっています。尚、ご本山での帰敬式は従来どおりに毎日2回行われています。

報恩講 夜の座

光山寺の報恩講日程は、今年は十一月二十八・二十九日の二日間の予定、朝・昼・夜の合計五座の法座が勤修される予定です。日程の関係上、仕事などで聴聞ができにくい方々のために、ご講師の宿泊される場合に限って二十八日には夜の座が開かれています。今年度の報恩講ではこの夜の座が十一月二十八日午後七時より開かれます。本年のご講師の先生は、子どもにも分かりやすいお話をしていただけかと思えます。また、夜の座には雅楽演奏も加わる予定です。尚、夜の座が仏教壮年会の研修をかねていますので壮年の方々は万障繰り合わせの上ご参加ください。

冬の児童作品募集

本願寺では毎年一月九日から十六日までの間、親鸞さまのお徳をたたえるとともに、ご苦勞を偲ばせていただく「御正忌報恩講法要」が勤まります。例年、この法要期間中に「全国児童生徒作品展」を開催いたします。私たち一人ひとりが仏さまのみ教えの中で育てられ、生かされている喜びを、作品に表してみましよう。たくさんのお友達をさそって、みなさんの得意な部門に出品してください。

【作文・詩】

テーマ 【課題】

- 次の三つの課題の中から好きな課題を一つ選んで書いてください。
・ほとけさまって(ほんとうに)いるのかな?
・こんな大人になりたいな!
・私の友だち(ぼくの友だち)

中学生は次の課題も含めた四つの課題の中から好きな課題を一つ選んで書いてください。

- ・新型コロナウイルス感染症が、世界中で流行したことで考えたこと(※中学生のみ)
幼児規格無し 小学生 B4縦書400字詰原稿用紙3枚以内
中学生 B4縦書400字詰原稿用紙4枚以内

※原稿用紙の1行目に「題」、2行目に「単位名(団体名)」および「学年」、3行目に「氏名・ふりがな」を必ず明記してください。

【絵画】

課題はありませんので自由に描いてください。(※カラー・デジタル・版画も可)。四切(38cm×54cm)以内(全学年共通)。名札を作品下部中央につけてください。

【書写】

- 幼児Ⅱひらがなもしくはカタカナ1字で自由に書いてください。
小学1年生Ⅱ「しん」 小学2年生Ⅱ「おてら」
小学3年生Ⅱ「あま茶」 小学4年生Ⅱ「他力の行」
小学5年生Ⅱ「希望の光」 小学6年生Ⅱ「極楽浄土」
中学生Ⅱ「唯我独尊」

※学年・氏名は、自筆で左側に書くこと。ただし、低学年の場合は姓または名前だけでもよい。園児・小学生半紙(タテ33cm×ヨコ24cmに限る)書体は楷書。中学生、画仙紙半切四分の一の大きさ(タテ68cm×ヨコ17.5cm)書体は楷書もしくは行書。名札を作品下部中央につけてください。

- 表彰 (1) 小・中学生の各部門入賞作品を表彰いたします。
「特選」各部門各学年一名 「入選」各学年三名以内
「佳作」各学年若干名
(2) 幼児の各部門入賞作品を表彰いたします。
「はと賞」各部門若干名
(3) 応募者全員に参加賞を贈ります。

出品方法 十月二十五日までに光山寺迄お届けください。作品は返却いたしません。

光山寺仏教讃歌コーラス参加者募集

光山寺仏教讃歌コーラスは、平成三年四月に結成以来二十九年間、仏教讃歌を通しておみのりに遇わせていただき、「お言葉の美しさ、こころのハーモニを醸し出す」ことを目指して活動しております。本年は新型コロナウイルス感染症防止の関係で、練習を中断していますが、参加者も次第に増えています。どなたでも参加できますので、みなさんも一緒に歌ってみませんか。練習は毎月一回で、発表は婦人会法座などで行っています。

募金箱報告

WWF J (世界自然保護基金日本委員会) の募金箱(焼香机よこ)に集まった募金五千七百七十七円を九月二日に送金いたしました。沢山の募金大変に有り難うございました。WWF Jは、東日本大震災前より日本のエネルギーの未来を変えるために、環境保全の視点を政策に、現実的・具体的な道を描く、政府案に対する代替案を出す、温室ガスの削減目標を定める、既成概念を変えていく、エネルギーへの関心を高めるなどの活動を積極的に進めています。

法話「あたたかい言葉」

かつて私はこのテレホン法話で、相手のしぐさ一つでその人を愛し、たった一言で相手を一生怨み続けるといったことが人間の世界で日常見られることであるといいましたが、まさしくそのとおりであります。サスペンスドラマのことですが、妙齢の女性が男性に向かつて、「へん、あんなやつ」と一言冷たい言葉を投げかけたばかりに、次々と不幸な事件に巻き込まれていく話がありました。我々人間の世界の争いや対立の原因の多くは、こうした、たわいもないことにあるのではないのでしょうか。朝日新聞にサトウサンペイが描いている「フジ三太郎」という漫画があります。ある時、例の豊田商事のサギまがいの商法による犠牲者のマンガがでていました。一人の老人がキツネの姿をした豊田商事のセールスマンにだまされて金を召し上げられ、あとに残った木の葉をみてガツクリきています。奥さんが後から「バカ、マネケ、クタブレ、クソジジイ」と怒鳴っています。この人はこの言葉でお金はもちろん、愛まで失いました。しかし、もう一人の老人は豊田商事にお金を奪われたことは一緒ですが、老いた奥さんが笑顔で、「いいのよ、おじいさん」と手を取り合っていて慰めているのです。結論は、お金すべてを失ったが、この奥さんの温かい言葉一つで、夫婦の愛が残ったということです。

仏教では言葉を大切にします。確かに言葉で言わずに態度で示せばいい、というのわかりやすい。出来たら心のこもったあたたかい人間味のある言葉を使っていきたい。また明るい言葉、落ちついた言葉、力強い言葉、人の心に慰めを与え、沈んでいる人に立ち直るエネルギーを施し、悩んでいる人に光をかざす、そういう言葉を話しかける人になりたいものです。困っている人に物をあげるのも施しですが、仏教で大切にしているのは無財の七施といって金銀財宝と無縁の、真心から出る形のなしい施しであり、また言葉をもちて相手の心にやすらぎを与えるのを言辭施といいますが、すぐに日常生活の中で実行していきたいものです。ある商店街のある店では毎朝店長以下従業員一同が通りのごみを拾って歩きながら、一軒一軒の店や通りがかりの人に、大きな明るい声で「お早ようございませう」といってまわっているのを私は知っています。